

平成 30(2018)年度発達障害医学セミナー

発達障害の最新の科学的知見と実地臨床



日時：2018年9月8日(土)・9日(日)

場所：京都テルサ東館 3F 大会議室

参加者：144名

コーディネーター：飯田 順三(奈良県立医科大学 看護学科 教授)

【プログラム】

(敬称略)

【9月8日(土)】

発達障害の行動療法・家族心理教育

大西 貴子 (奈良教育大学 学校教育講座 特任准教授)

ADHD の神経生物学

太田 豊作 (奈良県立医科大学 精神医学講座 講師)

自閉スペクトラム症の薬物療法

辻井 農亜 (近畿大学医学部 精神神経科学教室 准教授)

ADHD の薬物療法

根来 秀樹 (奈良教育大学 教職開発講座 教授/特別支援教育研究センター長)

思春期・成人期の発達障害

飯田 順三 (奈良県立医科大学 看護学科 教授)

【9月9日(日)】

自閉スペクトラム症の神経生物学 I

鳥塚 通弘 (奈良県立医科大学 精神医学講座 講師)

自閉スペクトラム症の神経生物学 II

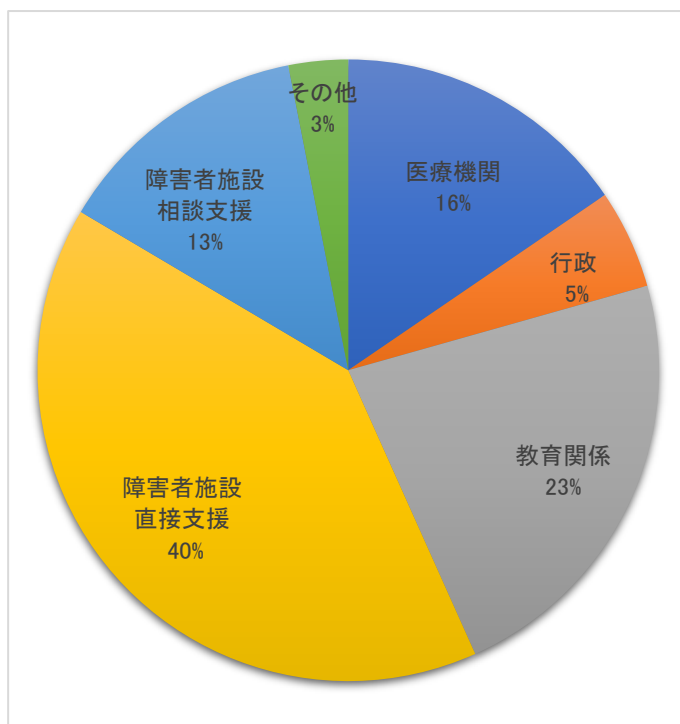
牧之段 学 (奈良県立医科大学 精神医学講座 講師)

発達障害の睡眠障害

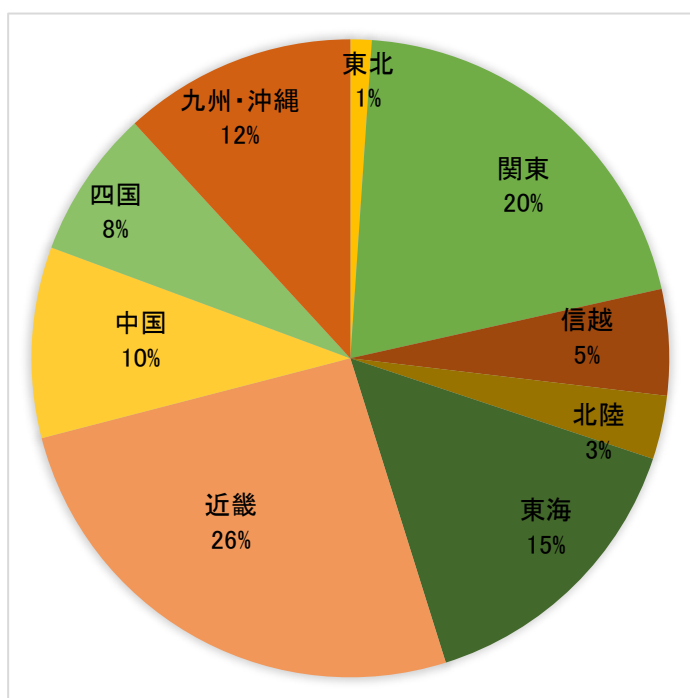
堀内 史枝 (愛媛大学医学部附属病院子どものこころセンター長/精神科 講師)

参加状況

現在従事されているご職業

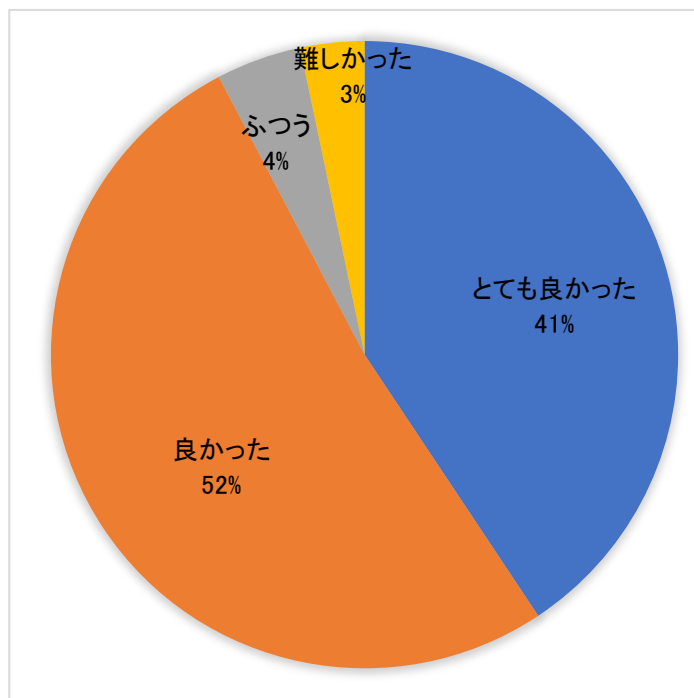


お住まいの地域

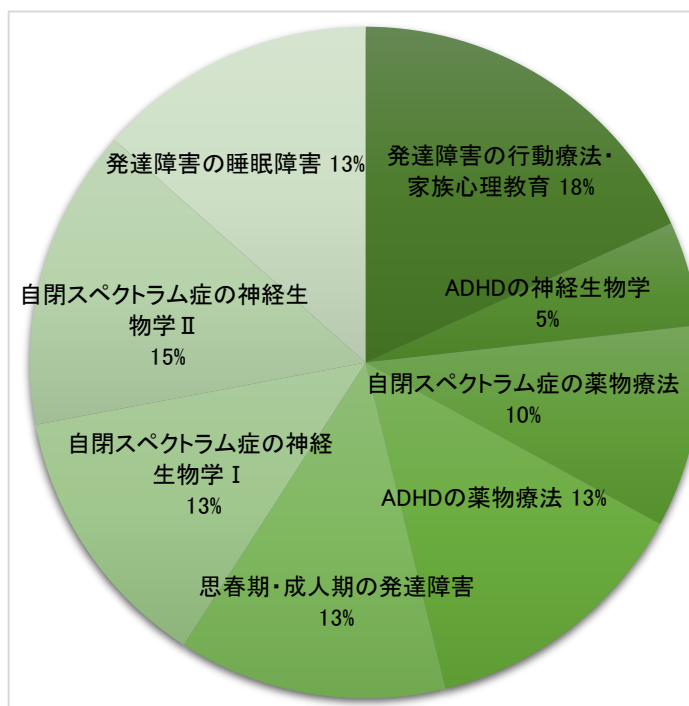


参加者アンケート(回答 94 名)

内容について



関心が高かった講演内容



参加者の皆様からの声

- ・医学的、科学的知見を知った(知っている・知らない)上で発達障害等の指導・支援を行うことの重要性を改めて感じた。知っていれば、より適切な環境設定につながると思いました。
- ・神経生物学を思いの外興味深く聞かせていただきました。難しい分野を分かりやすくまた、おもしろく、聞きやすく、楽しくしていただいたおかげで色々理解できたこともありました。
- ・医療という切り口でしたが、教育、保育、療育、就労支援、自立支援等に関連する視点や知識も得られて面白かったです。
- ・難しい話も多かったですが、先生方が分かりやすく伝えていただき、興味深く聞くことが出来ました。原因を知る事は大事だと思いました。先生方には研究にて ASD の解明を進めていただけたらと思いました。
- ・現実と抱き合わせて聞き、課題や展開を考えることができました。
- ・発達障害について、脳機能やメカニズムについて、最新の話がたくさんでとても勉強になりました。

最後に

今回のセミナーにご参加、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

テーマである「発達障害の最新の科学的知見と実地臨床」とあるように、第一線で最新の研究をされている講師の先生方の講演に「こんなところまで解明されてきているのか」と驚いたり、「幼児期からの関わり」をキーにそれぞれの講師の先生方から支援の考え方、大事さを学び実りあるセミナーとなりました。

なお、本セミナーの講演の内容は、日本発達障害連盟発行の「発達障害医学の進歩 31」に収録されます。